

地域社会との緊密な連携を築く

## 家庭・地域・学校の協働を支えるPTA活動

北名古屋市立師勝中学校PTA

### 1 はじめに

本校は、昭和22年4月1日に開校し、北名古屋市内で最も歴史のある中学校である。旧師勝町の中心部に校区があり、昭和30年代の後半以降、名古屋市のベッドタウンとして急激に校区の人口が増加した。現在でも市内で一番生徒数が多い中学校であり、現在は19学級、生徒数593名である。

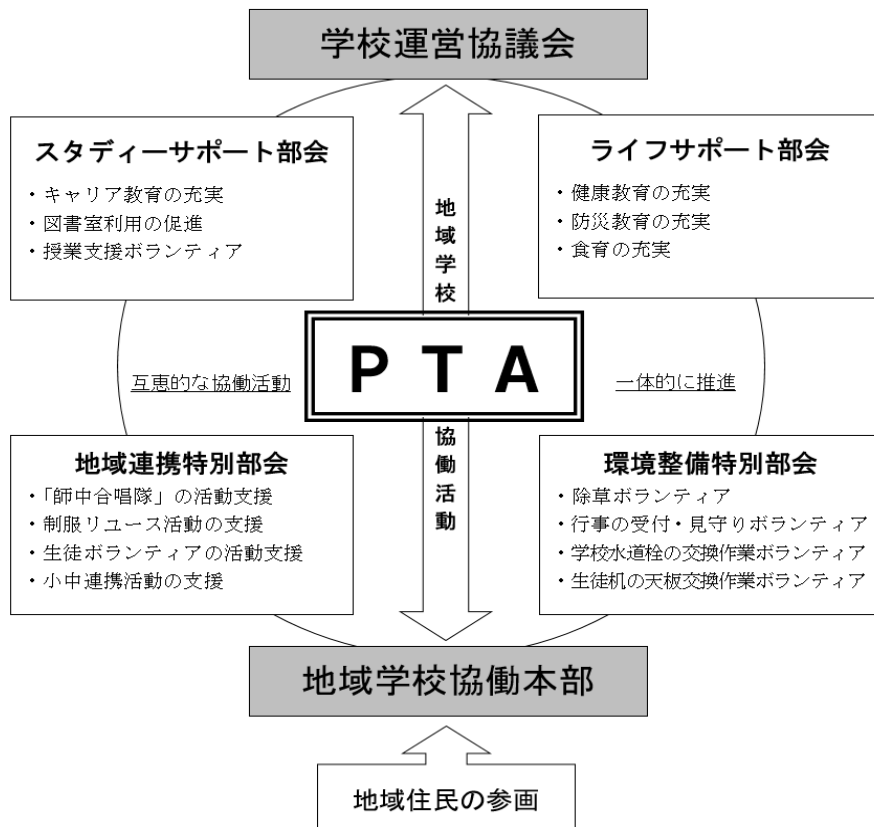


【運動場から見た校舎】

校訓は、『希望に燃えて、強く、正しく、明るく、頑張る生徒』であり、近年は「し（親切）か（感謝）つ（強い心）の心」や「挨拶、清掃、合唱」を合言葉に教育活動を進め、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざしている。

### 2 研究への取組

(1) PTAと学校運営協議会、地域学校協働本部との関係



## (2) 研究のねらい

本校は、平成29年度に北名古屋市教育委員会から学校運営協議会設置校の指定を受け、コミュニティ・スクールとして歩み出した。PTAは、当初から「地域とともにある学校づくり」という共通理念のもと、ともにさまざまな活動を実践してきた。



【第1回学校運営協議会】

今年度は、PTA会長が地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を兼任し、PTA副会長の2名も学校運営協議会委員を務めている。このようにPTA・学校運営協議会・地域学校協働本部が緊密な連携体制を築くことで、PTAが地域と学校をより強く結びつける役割を担うことができると考え、実践に取り組んだ。そして、このようなPTAが支える互恵的な協働活動を進めていくことは、学校が地域社会の中でその役割を果たし、地域とともに発展していくことにもつながると考える。

## 3 実践活動の概要

### (1) 学校支援ボランティアの立ち上げ

例年4月に、保護者や地域住民を対象に、学校のさまざまな教育活動に対する支援のため、学校支援ボランティアを募集している。毎年、多くの保護者や地域住民が登録しているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が実施できる場合は、そのつど学校支援ボランティアを募って活動を実施した。

#### 【PTAと学校運営協議会、地域学校協働本部と連携した活動】

| スタディーサポート部会の活動                                    |                  |
|---|------------------|
| キャリア教育の充実（社会人講話・職場体験学習の支援）                        |                  |
| 図書室利用の促進（図書ボランティアによる図書室整備・学年分館）                   |                  |
| 授業支援ボランティア（児童館責任者による保育講話の実施）                      |                  |
| ライフサポート部会の活動                                      |                  |
| 健康教育の充実（けが防止教室の支援）                                |                  |
| 防災教育の充実（緊急避難訓練における評価）                             |                  |
| 食育の充実（PTA常任委員会後の給食試食会、給食講話の実施）                    |                  |
| 環境整備特別部会  |                  |
| 除草ボランティア  |                  |
| 体育大会受付ボランティア、作品展の受付・作品見守りボランティア                   |                  |
| 学校水道栓の交換作業ボランティア                                  | 生徒机の天板交換作業ボランティア |
| 地域連携特別部会  |                  |
| 「師中合唱隊」の活動支援                                      | 制服リユース活動の支援      |
| 生徒ボランティアの活動支援<br>（資源回収の活動支援、市530運動への参加支援、市行事への協力） |                  |
| 小中連携活動の支援（小中合同あいさつ運動、小6への合唱披露）                    |                  |

## (2) 各部会の活動について

### ① スタディーサポート部の活動

P T Aでは、学校運営協議会を通して地域ボランティア等による社会人講話の講師選別に協力している。また、2年生の職場体験学習で受け入れ事業所の紹介等を行う取組も実施した。今年度の社会人講話でもP T A会員が講師を務めた講座があり、大変好評であった。

図書室整備支援として、P T Aからボランティアを募集し、学校運営協議会委員とも連携しながら図書室の整備や本の修繕等を行った。そのことで、生徒が読書に親しめるような環境を整えることができた。また、図書室利用を促進するために、学年分館として各学年フロアで移動図書室も実施した。

今年度は、1年生で家庭科の保育園実習が中止となった。そこで、P T Aで地域の児童館責任者も務める方の協力を得て保育講話を実施し、生徒の学習支援をすることができた。



【児童館責任者による保育講話】

### ② ライフサポート部の活動

健康教育の充実を目的に、1年生を対象に「けが防止教室」を実施した。この教室の講師は、学校運営協議会を通して地域医療機関から講師の先生をお招きした。日常生活の中で注意すべき姿勢や自分の体の特性を知ることによって、けがの防止への意識を高めることができた。

防災教育の充実を目的に、緊急避難訓練ではP T A役員や学校運営協議会委員で校内各所の避難状況を評価した。生徒や教職員にも一切知らせず、抜き打ちで実施した。突然の地震発生の放送に対して、教職員は冷静に対応し、互いに声をかけながら生徒に指示を出していた。訓練後には、評価者としてさまざまな視点からの意見を学校側に伝えることで防災教育の充実につなげた。



【けが防止教室でのストレッチ】

食育の充実を目的に、P T Aの常任委員会終了後、給食試食会を実施した。栄養士の先生に来ていただき、会食後に給食に関連した食育についてお話をいただいた。ここで学んだ事をP T A常任委員を通じて各家庭へ情報発信した。

### ③ 環境整備特別部会の活動

P T Aでは新たな取組として除草ボランティアを募り、学校運営協議会委員の協力も得ながら校舎周辺の除草を行った。また、体育大会

の受付ボランティアや、作品展の受付・作品見守りボランティアを募り、生徒や保護者が安心・安全な環境で行事等に参加できるように支援を行った。今後は、学校の水道栓をレバータイプのものに交換をしたり、生徒机の傷んだ天板の交換をしたりする予定である。



【作品展の受付ボランティア】

#### ④ 地域連携特別部会の活動

あいさつ運動では、年度当初に P T A に呼びかけ、小学校と同日に学年単位で実施し、多くの保護者が参加をしている。あいさつ運動終了後には、校長と懇談したり、第 1 時限の授業参観をしたりすることで、生徒の様子を知ることでもでき学校との連携を深めた。

資源回収ボランティア活動では、P T A の地区委員が主体となり、生徒ボランティアも参加して実施している。また、市の 530 運動にもボランティアとして参加しており、地域の方々や生徒とともに汗を流しながら活動に取り組むことで連携を強めた。

師勝中学校は、合唱が大変盛んな学校である。そこで、小中連携の一環として隣の小学校に声をかけ、6年生を招いて中学校3年生が合唱を披露した。また、公民館に勤める本校 P T A の推薦で、市の文化祭の表彰式典コンサートに「師中合唱隊」が出演した。総勢 70 名を超える生徒が美しい歌声を披露し、地域との連携を深めた。



【市行事での合唱披露】

## 4 おわりに

家庭・地域・学校の互恵的な協働活動を推進することで、学校は大きく変わった。保護者や地域の方と生徒が接する機会が増え、普段の学校生活では体験できない活動も数多くできるようになった。それに伴い、これらの協働活動を支える P T A の活動にも広がりや深まりが生まれるとともに、P T A と地域と学校が、より近い関係となった。今回の研究を通して、P T A も地域も学校も、協働活動のすばらしさやありがたさを実感することができた。そして、家庭・地域・学校の三者が緊密に連携してさまざまな活動を推進していくことは、学校の教育活動を充実させ、生徒の心を豊かにする無限の可能性を秘めていることも知った。

今後も、家庭・地域・学校の互恵的な協働活動の推進に向け、市内の各小中学校 P T A との横のつながりを大切にしながら最大限に努力することで、生徒の健全育成に努めていきたい。